

公民館から教室のご案内

※新型コロナウイルスの感染状況により、講座を延期又は中止する場合があります。

1. はびまま子育て教室

お母さん同士が楽しく交流しながら学びます。
 お気軽ご参加ください。

[対象] 市内在住の未就学児とその保護者
 [材料費] 300円(第1回)

	日時	内容	定員	場所
1	5月20日(金) ①10:00~11:00 ②11:00~12:00	手形足形アートでパズルを作ろう	①8組 ②8組	粕川児童館(込皆戸526)
2	6月24日(金) 10:00~11:30	心を軽くする 大人のための 絵本セラピー ※お子さんは児童館で遊べます!	5組	粕川児童館(込皆戸526)
3	7月21日(木) 10:00~11:30	子育て支援センターの夏まつりに 参加しよう!	5組	隣保館(西田面192-1)

家族のハッピープロジェクト

2. 多肉植物で自分だけの箱庭を作ろう

自分の好きな多肉植物を選んで、自由な発想でオリジナル「箱庭」を作ってみませんか?

[日時] 5月22日(日) 午前10時~12時

[場所] 粕川公民館 多目的ホール

[対象] 粕川地区内小学生とその保護者

[定員] 先着20名

[材料費] 800円(1人分)

◎ どちらの教室も、お申込みは粕川公民館まで、お電話(285-3311)または来館にてお申込みください。 締切: 5月12日まで 受付時間: 平日 8時30分~17時15分



小学校児童の標語をご紹介します。(敬称略)

※学年は令和3年度時です。

- みんなで わらえば しあわせいっぱい
川田 ひまり(粕川小2年)
- ありがとう たくさんいえたら みんなえがおだね
半田 龍真(粕川小2年)



地域の お知らせ

公民館のサークル活動で 仲間づくり

粕川公民館には、25団体の自主学習グループ（サークル）があります。自分の好きなことを学びながら、地域の仲間と絆を深めることができます。サークル活動に興味のある方は、粕川公民館（285-3311）までお問い合わせください。

隣保館NEWS ☎285-5534

※新型コロナウイルスの関係で、イベント等が中止となる場合があります。

○人権擁護委員による特設人権相談所を開設

6月3日（金）午後1時～午後4時

子どもに関することや仕事、家庭、近隣間での悩み事など、毎日の暮らしの中で起こるさまざまな人権問題の相談ができます。相談無料で、秘密は厳守します。事前申し込みは不要で、当日、隣保館へ直接おこしてください。

○「和也君のアサガオ」種の配布について

隣保館では、昨年度収穫したアサガオの種の無料配布を5月より行います。希望する方は、隣保館までお出てください。これは、「和也君のアサガオ」といい、詳細は、種と一緒にチラシを渡しますので、ご覧ください。

○「児童福祉週間」について

5日から11日は、児童福祉週間です。子どもや家庭及び子どもの健やかな成長について、国民全体で考えることを目的としています。すべての子どもが健やかに成長するよう家族をはじめ、地域全体で育てていきましょう。

○粕川保育所子育て支援センター（会場は隣保館）

①5月17日（火）午前9時45分～と11時～ 育児講座

「手形アート」各親子5組

②5月26日（木）午前10時30分～ 育児講座「親子ヨガ」

親子5組

（問い合わせ・申し込み先）

子育て支援センター

電話285-2107

○すみれ墨水会作品展

すみれ墨水会の新しい作品を飾りました。隣保館・公民館等に来た時などに、是非、立ち寄っていただき、ご覧ください。

粕川歴史民俗資料館令和4年度春期企画展「前橋の刀工と刀剣—前橋藩ゆかりの刀—」

【開催日】令和4年4月28日（木）～9月4日（日）10時～16時

（途中展示品の入れ替えあり）

【休館日】毎週月・火（但しこの日が祝日にあたる場合は開館とし、直近の平時を休館とする。なお、ゴールデンウィーク期間中（4月29日～5月8日）は連日開館とする。

【内 容】前橋市所蔵の刀剣のうち、近年寄附を受けた刀を中心に群馬県立歴史博物館が所蔵する刀剣等も借用し、前橋藩にゆかりがある刀工の作品や旧藩士が所蔵していた刀を公開展示する。

【主な展示資料】藤枝英義 刀（本市所蔵）松平大和守家の甲冑（市重要文化財）

藤枝英義 長刀（県立歴史博物館所蔵）など

【その他】講座や展示解説会、現地見学会を予定しています。詳しくは文化財保護課へお問い合わせください。

〒371-0853

前橋市総社町三丁目11番地4

前橋市文化財保護課

電話 027-280-6511

FAX 027-251-1700

忠次の岩屋

(忠次の隠れた窟)

忠次の岩屋は粕川の左岸に位置し、不動大滝と不動さまの間位な距離にある。

国定忠次は、映画や講談・浪曲・小説などにより、知名度が全国的に広まっていた。中でも忠次の人気に拍車を掛けたのが東海林太郎の唄う「名月赤城山」や「赤城の子守唄」の歌謡曲であった。

また、戦後の娯楽の無かった田舎の秋祭りには、盛に青年団などが忠次の素人芝居を演じたものでした。

現代でも夏祭りの八木節音頭には忠次を語り、樽を叩いて笛太鼓に鉦の囃子で調子を付け、舞台の前では雨傘踊で祭りを盛り上げている。

こうしたことで、群馬と言うと忠次、忠次と言えば赤城山が有名になった。その忠次の隠れた岩屋が粕川の左岸にあることについては、知名度が低いようである。

観光協会などが隠れ岩内に入

く危険である。説明板の説明文の吟味

登り詰めると目前に「忠次の岩屋由来説明」の説明板がある。その説明板によると、

『……今から凡そ五〇万年前頃(当初は五百万年であった)

に赤城の山がようやく火山活動の終期に入り、やがて地殻が出来始めた頃、火口である小沼の底から軟層を破って溶岩が流出してこの洞窟が出来上がったのであります。岩屋内左奥のトンネルは、現在落石の為先へ進めませんが、小沼の湖底に通じていると云い伝えられています。……』とある。

この説明部分は、極めて無理な説明文になっている。何故かと言うと、赤城山の火山開始は、今からおよそ50万年〜30万年前頃で(説明板は終期になつて真逆を伝えている)赤城山の終期は2万8000年前頃小沼火山の噴火を最後に終息したと謂われている。「赤城学」の著者栗原久氏は「小沼火山の噴火は溶岩の噴出を伴わない軽石や火山灰だけの噴火であった」と述べている。小沼火山の噴火の状態から底から軟層を破って溶岩が流れ出て、洞窟が出来たことなど想像も出来ない

では、く危険である。説明板の説明文の吟味

く危険である。説明板の説明文の吟味

く危険である。説明板の説明文の吟味

く危険である。説明板の説明文の吟味

く危険である。説明板の説明文の吟味

く危険である。説明板の説明文の吟味

く危険である。説明板の説明文の吟味

く危険である。説明板の説明文の吟味

説明板の説明文の見直し

若干の費用が掛かるかもしれないが、地質等に詳しい先生にお願いして前半部分を書き改めることをお願いしたい。後半の忠次について、流石は忠次研究60年群馬県認定の「ぐんまの

達人」の書かれた説明文だけに遜色は無い。

『……さて天保十一年、西暦一八四〇年のこと、民百姓……天保十一年霜月十一月から翌春の二月迄霜枯れ三月身を隠していました。……遠く信州路へ国越のため旅立(達になつては)つたのであります。これが人呼んで忠次の岩屋の話です。』と書かれてある。

新道路(林道)も落石防護柵が完備し、開通されると多くの登山者が「忠次の岩屋」を訪れることでしょう。誠に僭越と思えますが、社会教育の面からも是非説明板の説明文を書き改めたい。

(…:…:は説明板の説明文を省略してある)

(次号に続く・前橋市教育委員会文化財保護課文化財保護指導員宮崎 高志・記)

参考文献

- 日本の山ができるまで(小泉武栄・エイアンドエフ)
群馬県(群馬)の大地編集委員会・上毛新聞社
(群馬)の大地ハイキング(地学団体研究所・みやま文庫)
(は)じめの地質学(日本地質学会・ベレ出版)
(上)州の山歩(説書新聞前橋支局・説書新聞社)
(赤城学)の発見(青木正博・誠文堂新光社)
(高橋)正樹外・日本芸文社
(高橋)忠治(檀)一雄・河口文庫
(赤城)山(山)口隆・上毛新聞社
(高橋)忠治(子)母沢寛・岩廣濟堂)

－ 公民館利用グループの紹介 －

◎粕川書の友会(書道)

[活動日時] 月2回 土曜日

午前9時30分～11時30分

筆で書けることの素晴らしさを月2回の練習の積み重ねで実感できます。会長は中島由美子、講師は松村重子です。和気あいの会です。皆さま、友達誘って入会しませんか。会員一同お待ちしております。

◎かすかわロコモコ(ウクレレ)

[活動日時] 毎週 木曜日

午後7時～午後9時

かすかわロコモコは、ウクレレを中心としたバンド活動をしています。ポップスやアニメソングの演奏を一緒に楽しみましょう。初心者でも意外と弾けちゃいます。お気軽にお声掛けください。



前橋市立図書館
粕川分館だより

今月の新刊ご案内

《一般書》

●ななみの海(朝比奈あすか) ●砂嵐に星屑(一穂ミチ) ●奏鳴曲(海堂尊) ●花盛りの椅子(清水裕貴) ●タイムマシンに乗れないぼくたち(寺地はるな) ●恋愛の発酵と腐敗について(錦見映理子) ●奇跡(林真理子) ●天国からの宅急便(柊サナカ) ●彼女の背中を押したのは(宮西真冬) ●かくして彼女は宴で語る(宮内悠介)

市立図書館粕川分館 ☎027(285)3312

○開館時間 <平日> 午前10時～午後6時

《児童書・絵本》

●香君 上・下(上橋菜穂子) ●スネークダンス(佐藤まどか) ●タブレット・チルドレン(村上しいこ) ●森のクリーニング店シラギクさん友だちになった日(高森美由紀) ●あんばんまんごりらまん(やなせたかし) ●スプーンとフライパン(新井洋行) ●でんせつのチョコレート(みやにしたつや) ●はなになりました(内田麟太郎) ●ぱなしくん(柴田ケイコ) ●ふたりはしんゆう(アーノルド・ローベル)

<土日祝> 午前10時～午後5時

休館日	5月 6(金)・12(木)・
	19(木)・26(木)
	6月 2(木)・6(月)・
	16(木)・23(木)・
	30(木)

■発行日 令和4年5月1日発行
■編集発行 粕川公民館 〒371-0217 前橋市粕川町西田面194-4
TEL 027-285-3311 FAX 027-230-6063
ホームページ <http://www.city.maebashi.gunma.jp/>
→ 公民館 → 粕川公民館



WEB-SITE

